

作成番号:0217

=====

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

=====

号数 : 2024-217

内容:高身長ががんリスクと有意に関連

出典:Height and cancer risk in East Asians: Evidence from a prospective cohort study and Mendelian randomization analyses.

Cancer epidemiology. 2024 Aug 13;92;102647. doi: 10.1016/j.canep.2024.102647.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39142240/>

欧米の研究では、身長とがんリスクの関連が示唆されているが、アジア人を対象とした研究は少ない。今回、中国・Fudan University の研究者らが中国人の前向きコホートで解析した結果を、Cancer Epidemiology 誌 2024 年 10 月号に掲載した。

中国の China Kadoorie Biobank (CKB) 前向きコホートのデータを用いて観察的解析を実施し、また、CKB、日本の Biobank Japan、韓国の Korean Genome and Epidemiology Study のデータを用いた 2 標本メンデルランダム化解析により身長とがんの因果関係を検討した。追跡期間中央値 10.1 年で、22,731 例にがんが発生した。観察的解析では、身長 10cm 増加当たりの HR は、がん全体で 1.16 (95%CI:1.14~1.19, $p < 0.001$)、肺がんで 1.18 (同:1.12~1.24, $p < 0.001$)、食道がんで 1.21 (同:1.12~1.30, $p < 0.001$)、乳がんで 1.41 (同:1.31~1.53, $p < 0.001$)、子宮頸がんで 1.29 (同:1.15~1.45, $p < 0.001$)、悪性リンパ腫で 1.18 (同:1.04~1.34, $p = 0.010$)、大腸がんで 1.09 (同:1.02~1.16, $p = 0.010$)、胃がんで 1.07 (同:1.00~1.14, $p = 0.044$) で、身長が高いとリスクが有意に上昇した。また、リスク上昇が示唆された。メンデルランダム化解析では、遺伝的に予測される身長の 1 標準偏差 (8.07cm) 増加当たりのオッズ比は、肺がんで 1.17 (95%CI:1.02~1.35, $p = 0.0244$)、胃がんで 1.14 (同:1.02~1.29, $p = 0.0233$) で、高身長でリスク上昇が示唆された。

